

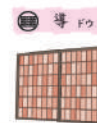
襲

カサネ — ロビーが変わる、インテリアの力 —

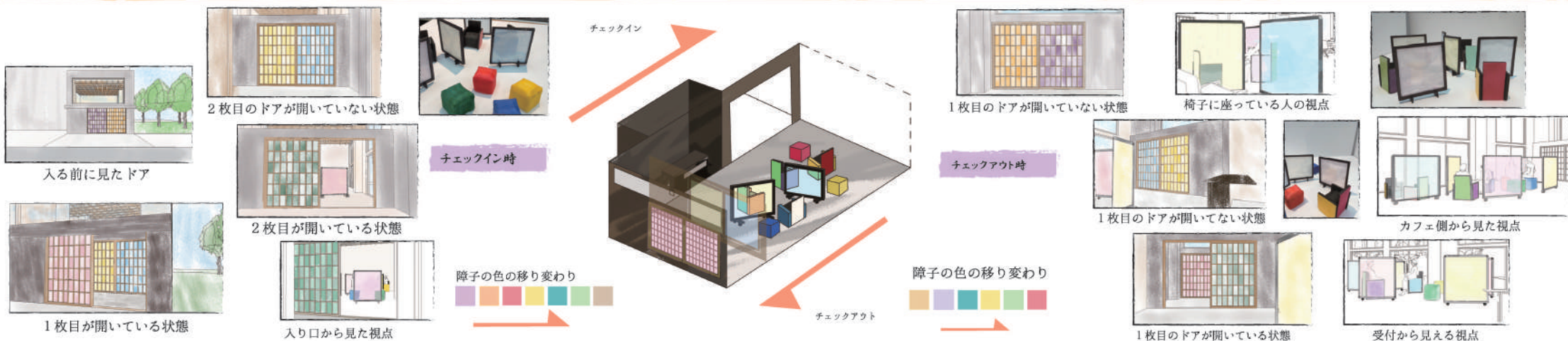
旅行は人々にとって非日常を感じる時間。そんな旅行のひとつとき、心と身体を休めるホテルで日本の文化を感じてもらいたい。ドア、椅子、パーティーションに襲色目のフアブリックを使用することで重なった色が違う色を作り出す。ホテルの顔であるエントランス・ロビーを、観光地の一つかのように見て感じて楽しめる新しい空間に変えて旅行者におもてなしをする。

襲 カサネ

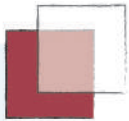
重ねることでの移り変わりを楽しむ



パース



「装色目 (かさねいろめ)」



“日本古来の色合わせのお手本”とされてきた。貴族が身につけていた衣服は薄く、透ける素材のものが多かった。当時はその素材を上手く利用して、布の素材と裏地を重ねることで独特な美しい色調を作り出し、装いを彩っていた。

パーテーション、障子、椅子に使用

「からみ織り」 安田織物株式会社



からみ織りという日本の伝統技術を使った安田織物の「紗」を使用。経糸をもじり交差させた状態で緯糸を通すことで生地空間をつくる織技術。粗く糸を絡ませて織ることで透け感が出る。



パーテーション、障子に使用

結城紬 (ゆうきつむぎ) 株式会社紬の里



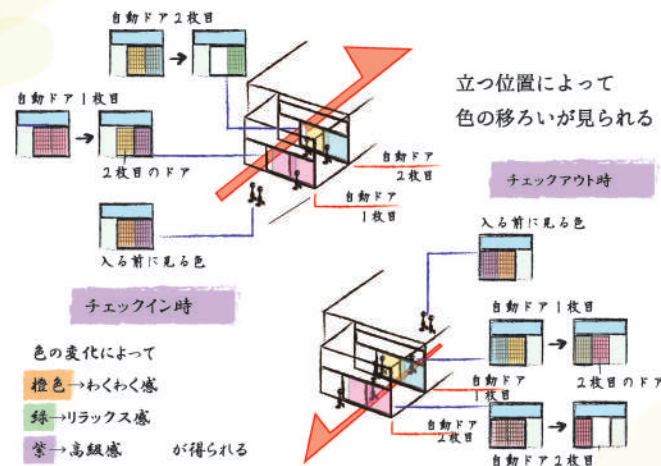
時間の経過とともに美しくなる経年変化が見られる絹織物である。真綿から一本一本、手で紡ぎだすことで作られる上質な糸から出来上がった結城紬の着物は、軽くて柔らかく、保温性に優れていることが特徴。



椅子に使用

導ドウ

エントランスの自動ドアのつくりは、三原色に近い装色目を使い重ねることで違う色を作り出します。ガラスの間に木格子と布を挟んでいます。

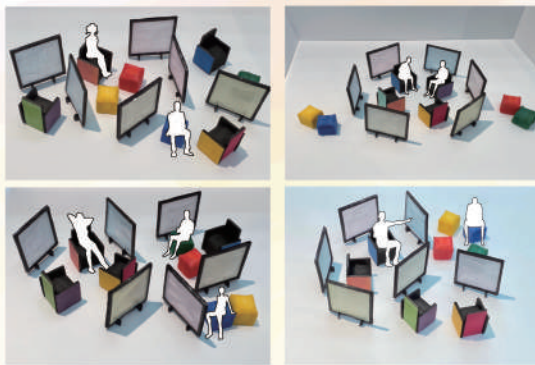


透トウ



ロビーでチェックインをする時や待ち合わせをする際に話しやすくなるため、パーテーションを利用することで**個人の空間**が生まれる。また、椅子の位置を固定していないため動かして自分の好きな位置に座ることができる。パーテーションを上手く使い**人目を気にせず**にリラックスした空間を作ることが出来る。

お客様の数だけデザインが変わる！！
配置パターンの例



据キョ



2種類の椅子をデザイン



衣を重ね着したときにできる「配合色」を利用し側面と背面に色を取り入れた。



目立つ色を使用することでパーテーション越しでも綺麗に透けるようになっている。

色の重ねりの例

